

公益財団法人 太陽生命厚生財団

2025 年度事業報告

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

I. 事業概況

本財団は、太陽生命保険の創業 90 周年を記念して、同社からの寄付金を基金とし、社会福祉の向上に寄与することを目的に、1984 年 5 月に設立された「ひまわり厚生財団」を前身としております。

2009 年 12 月 1 日、内閣府より「公益財団法人」の認可を受け、「公益財団法人 太陽生命厚生財団」へ移行いたしました。

2025 年度の助成事業につきましては、従来どおり、財団設立の趣旨・目的である社会福祉の向上に寄与するために、生活福祉分野で地域に根ざし地道な活動を行っている特定非営利活動法人（NPO）等が実施する、在宅高齢者または在宅障がい者等の福祉に関する事業へ継続して助成するとともに、高齢者医療・保健、生活習慣病または高齢者福祉等に関する調査研究への助成を実施いたしました。

当年度の助成実績は、事業助成が 62 件・1,996 万円、調査研究助成が 7 件・310 万円、合計 69 件・2,306 万円でありました。

今後とも、太陽生命保険株式会社の協力を得ながら、わが国の社会福祉の更なる向上に寄与するための助成事業を行ってまいります。

II. 事業に関する事項

1. 公益目的事業の実施状況

2025 年度事業計画にしたがい、事業助成ならびに調査研究助成を次のとおり、実施いたしました。

また、事業の公益性を確保するため、助成対象の選考にあたっては、本財団の選考委員会が、公募によって応募のあった助成対象候補の中から厳正な審査を行ったうえで、理事会にて決定しております。

A. 事業助成

特定非営利活動法人（NPO）等が、在宅高齢者、在宅障がい者等（その家族を含む）の福祉向上や文化活動を支援するために行う事業、およびこれらに関連し、支援を必要としながら日頃行政や医療・福祉の狭間で見落とされがちな、各種活動を支援するために行う事業（例えば、難病患者、がん患者、若年性認知症者、養護施設入所児童および里親等、障がいを持った刑務所からの出所者等への支援事業）に対し助成を行いました。

【事業テーマA】 自助・自立の意欲を引き出し、または鼓舞するなど生活の支援・向上に資する事業

<助成実績> 17件・505万円

(単位:万円)

	団体名	所在地	事業のテーマ	金額
1	鳩山ぽっぽ会	埼玉県比企郡	オレンジカフェ鳩ぽっぽの定期的な開催で、外出の機会がない高齢者に外出やおしゃべりの機会を与え、認知症予防を図る	34
2	カーレット飯能	埼玉県飯能市	高齢者や障がい者が自宅近くで参加可能なカーレット拠点作り事業	28
3	東京車いすカーリングクラブ	東京都日野市	「第2回オリパラ男女共生カーリング大会」の開催 「車いすカーリング体験会」及び「パラスポーツボランティア養成会」の開催	25
4	メイクボランティア美々	岩手県奥州市	自分も相手も「笑顔」になれるメイクボランティア	10
5	特定非営利活動法人凸凹ライフデザイン	東京都大田区	立場を越えた連携のもと製作する発達障害理解啓発冊子	50
6	平敷公民館	沖縄県国頭郡	在宅高齢者の生きがい創出と健康促進のためのeスポーツクラブ	20
7	特定非営利活動法人チットチャット	大阪府大阪市	障がい者のための親陸会	15
8	花パン	京都府京都市	生成AIとスマホ活用で高齢者のデジタルデバйд解消と社会参加促進	49
9	飯塚市シニアクラブ連合会	福岡県飯塚市	高齢者による高齢者のためのアクティブシニアプログラム	50
10	特定非営利活動法人千葉市視覚障害者協会	千葉県千葉市	ホームページの開設(会員及び市民への情報発信)	33
11	レクア・コム部	新潟県新潟市	障がいを持つ方に対する自立支援	20
12	ふれあいコンサート実行委員会	東京都板橋区	地域高齢者が生ライブを全身で体感！明日への活力とする事業	11

13	特定非営利活動法人 ジェイズマスクワイア	大阪府 大阪市	引きこもり解消による障がい者の居場所作りと社会復帰支援事業	46
14	NPO法人 認知症予防・診断後 支援センター HARUKAZE	熊本県 熊本市	健康状態の維持を目指し、MCIや早期認知症利用者や家族の社会参加機会の確保	35
15	伊都・橋本心不全ネット ワーク	和歌山県 橋本市	心不全を早期発見し治療するための地域での取り組み	13
16	(学生団体) 福島大学災害ボランティア センター	福島県 福島市	福島に寄り添う 福島とつながる ～孤立死・自死・関連死を防ぐ～	50
17	NPO法人 日本タンゴセラピー協会	東京都 港区	「バリアフリーダンスパーティー」でご高齢者、パーキンソン病患者に安全に楽しんでいただきます	16

【事業テーマB】 安心して暮らせるための地域共生の仕組みづくり事業（例、認知症カフェ、地域サロン、生活物品入手支援・配送等）

<助成実績> 24件・780万円

(単位:万円)

	団体名	所在地	事業のテーマ	金額
1	特定非営利活動法人 岡山救急医療セーフ ティネットワーク OKQQ	岡山県 岡山市	地域の介護者に安心安全を提供する、救急科専門医による24時間電話相談窓口の開設	35
2	NPO法人 地域福祉サポート おれんじの輪	愛知県 北名古屋市	認知症の人の笑顔と地域とのつながり推進事業～認知症ケアマフ&マリーゴールド大作戦～ 認知症ケアマフの作成と活用、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色のマリーゴールドを小学校や地域で育てることで、後々まで認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを行う	22
3	特定非営利活動法人 PREMO(ふれも)	宮城県 塩竈市	重度障がい者の身上保護を充実させるための成年後見制度のサポート体制づくり	18
4	災強のすけっと	岩手県 紫波郡	重症心身障がい児者・医療的ケア児者の実用的な個別避難計画の作成と避難訓練の実施	50
5	夢あじな	広島県 廿日市	！フレイル予防にかみかみ体操、美味しい食事 で健康寿命！	10
6	大原居場所連絡会	京都府 京都市	文化的イベントを開催し「多世代交流」の機会と共に地域の中で「居場所」作りを目指す	12
7	小鳥の森カーシェア 会	岡山県 岡山市	ご近所で車両の共同リースを通じて、支え合う地域づくりを目指す	20
8	東京大学大学院 家 族看護学分野	東京都 文京区	子どもたちが共に生きる社会の実現を目指した体験型プログラム:教育現場との対話によるプログラムの導入と改良	50

9	特定非営利活動法人 健康な脳づくり	愛知県 名古屋市	新規拠点で高齢者のための認知症予防教室開講	50
10	たすキュー金立	佐賀県 佐賀市	在宅高齢者の病院受診や買い物等のために、移動支援事業	50
11	砂山地区社会福祉協議会	和歌山県 和歌山市	ライフスタイル要因を加味した認知機能低下予防介入の効果検証	48
12	特定非営利活動法人 京都栄養士ネット	京都府 京都市	まちかど栄養相談室と在宅療養者の食支援者の連携構築で地域高齢者を支える	30
13	6+cafe	神奈川県 鎌倉市	多世代交流と出前事業	20
14	東北大学インクストーンズ	宮城県 仙台市	石巻市における復興公営住宅の住民を対象に、サロン活動を通じたコミュニティ形成支援	22
15	一般社団法人 山形県介護支援専門員協会	山形県 山形市	地域共生社会のための住民とケアマネジャーのネットワーク構築事業	50
16	特定非営利活動法人 霞ヶ丘クラブ	愛知県 名古屋市	青果物の鮮度保持のための冷蔵設備の充実	50
17	スマイルカフェ	北海道 札幌市	スマイルカフェ(認知症カフェ)事業	12
18	NPO法人 イナクル	北海道 札幌市	付き添い家族に心と体にやさしいお食事を届けるプロジェクト2025後期	50
19	たすけ愛隊「ママの手」	滋賀県 草津市	高齢者の地域での孤立を防ぎ安全・安心に暮らせるまちづくりを目指します	10
20	チームたね	東京都 世田谷区	認知症になってからも、その人らしく暮らしていくためのヒントが生まれる場所づくり	49
21	特定非営利活動法人 「飛んでけ！車いす」の会	北海道 札幌市	車いすのリユースの仕組みを用いた災害弱者を支援する地域に対するBCP促進事業	50
22	介護者ゆったり交流会(通称:岐保大やすらぎ処)	岐阜県 岐阜市	認知症と加齢の理解を深め、介護者がつながる交流会	11
23	NPO法人 いしだたみ・認知症行方不明者家族等の支え合いの会	長崎県 長崎市	認知症で行方不明になったままの人がいる家族に寄り添い、向き合い、支えあう	50
24	八戸市手をつなぐ育成会	青森県 八戸市	障がいのある人が安心して暮らせる社会を目指し、本人たちを支える施設やその家族も支える活動	11

【事業テーマC】福祉・文化活動を行うために必要な機器、機材、備品等の整備事業

<助成実績> 21件・711万円

(単位:万円)

	団体名	所在地	事業のテーマ	金額
1	手話サークルなでしこ	和歌山県 橋本市	手話を言語としたかるた作り	24
2	はしもと編み物ボランティアの会	和歌山県 橋本市	命と財産を守るための防災頭巾と防災リュックづくり事業	20
3	特定非営利活動法人 utagu	長野県 長野市	在宅障がい者の創作活動と地域文化発信の機器整備	34
4	特定非営利活動法人 銀河舎	千葉県 千葉市	工業用ミシンを購入する事業	50
5	新津点訳奉仕会まどかグループ	新潟県 新潟市	視覚障がい者に行政広報、一般図書の点訳版製作(パソコン使用)を行い、提供する	18
6	社会福祉法人 あいの実	宮城県 仙台市	あいの実ストロベリー 視線入力をテキスタイルデザインにする上で必要な備品を購入する事業	45
7	グループ はな花	京都府 京都市	在宅高齢者の生活支援。ご自分の望む生活が安心して続けられるよう手助けする	29
8	信楽生活支援ボランティアグループ“ほっと”	滋賀県 甲賀市	無理なく活動を継続するために、作業の補助になる備品を購入する事業	13
9	特定非営利活動法人 うーたん	高知県 南国市	生産活動における作業効率化事業(ラベル貼り機器の導入)	50
10	俊友会合唱団	石川県 七尾市	デイサービス利用の人たちにハンドベルを体験してもらうためにハンドベルを購入する事業	21
11	和歌山パラアスリートクラブ	和歌山県 和歌山市	活動場所の新規開拓に係る陸上競技用品の購入	27
12	広島市視覚障害者情報支援センター	広島県 広島市	iPhoneのVoiceOver機能を活用して、操作のサポートを行い視覚障がい者の自立、生活の質の向上に資するためのiPhoneの取得	50
13	松田いきいき元気の家	神奈川県 足柄上郡	ポータブルアンプ導入によるフレイル測定会等の円滑な運営推進を図る	27
14	社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会	茨城県 水戸市	令和8年度主管 第40回日本視覚障害者団体連合関東ブロック協議会視覚障害者サウンドテーブルテニス茨城大会	50
15	特定非営利活動法人 おはよう共同作業所	北海道 函館市	作業所活動に必要な冷蔵庫の購入	50
16	特定非営利活動法人 グリーンヒル・プラス	滋賀県 大津市	脳の若返り:元気な今からみんなで楽しく認知症・誤嚥予防	20
17	特定非営利活動法人 家庭養育支援機構	東京都 新宿区	家庭養育推進における真の協働を考えるシンポジウムの企画・実施	50
18	特定非営利活動法人 訪問大学おおきなき	東京都 大田区	障がいのある方の可能性を引き出す学習アプリとタブレットPC・スイッチを整備する事業	34

19	特定非営利活動法人 ヒールアップハウス	埼玉県 川口市	川口市の80歳以上の単身高齢者のお宅に障がい者が作った製品を届けたい！	10
20	今里地区ネットワーク 委員会	大阪府 大阪市	シニア向けカフェを就労支援事業所と連携して親しみやすくする事業	39
21	NPO法人 虹色の会 よっちゃん 家井野川	群馬県 高崎市	古民家における居場所活動及び研修会活動の継続的運営のために駐車場の拡張と整備	50

◇事業助成額合計（62件）19,960,000円

B. 調査研究助成

非営利の民間団体等が実施する高齢者保健・医療、生活習慣病または高齢者福祉に関する調査または研究に対し助成を行いました。

<助成実績> 7件・310万円

※以下の助成先には、代表研究者氏名〔敬称略〕及び所属機関・団体名を記載。

(単位:万円)

	氏名(敬称略)	所属機関・団体名	所在地	調査研究テーマ	金額
1	肥田 あゆみ	独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所／医療法人財団明理会 明理会 東京大和病院	東京都板橋区	認知症患者を含む終末期患者のAHN選択に関する代諾プロセス及び市民意識の実態調査	50
2	中田 翼	電気通信大学	東京都調布市	高齢者の主観的幸福度と社会的つながりの長期的維持に関する実証研究	50
3	平松 正和	東京家政大学 栄養学部 管理栄養学科	東京都板橋区	間質性肺疾患の高齢患者における治療薬の副作用と栄養状態低下の関連性	50
4	伯川 聡志	医療法人社団鎮誠会 令和リハビリテーション病院	千葉県千葉市	回復期リハビリテーションにおける身体機能と心理的要因を統合した在宅転倒リスク評価	50
5	菅沼 華海	群馬大学大学院保健学研究科	群馬県前橋市	認知症者の安心を支える人形・AIとの共生社会の構築～やさしさと科学の融合～	50
6	長澤 康弘	医療法人社団誠和会 長谷川病院	千葉県八街市	慢性腰痛高齢者の24時間行動と心身機能、Well-beingの関連	30
7	林 覚史	市立吹田市民病院 外科	大阪府吹田市	将来の筋萎縮の予測因子としての、大腰筋CT評価(CT値標準偏差)の有用性の検討	30

◇調査研究助成額合計（7件）3,100,000円

事業助成・調査研究助成 助成額総額（69件）23,060,000円

C. 事業の公益性を確保する取組等

- 本財団では、助成事業を通じて、財団設立の趣旨・目的である社会福祉の向上に寄与していくために、公募内容を財団ホームページで周知することに加えて、社会福祉関連ならびに保健医療関連の各種機関、大学のボランティア支援組織等に提供し周知を依頼することで、支援を必要とする団体などに広く認知されるように努めております。
- 公募によって応募のあった助成対象候補については、社会福祉関連や保健医療関連などの分野に精通し知見のある委員で構成された選考委員会で、厳正な審査を行っております。なお、委員は、自己と特別の利害関係がある事案の審査には加わることができないように規定されております。
- 選考委員会の審査を経た後、個々の事案に対する最終的な助成決定は理事会が行っております。また、本財団では、理事会での決議後に評議員会へも報告が為されたうえで、助成金が贈呈される流れとなっております。
- 本財団が助成を実施した内容は、毎年、財団ホームページにおいて団体名や事業内容などを公開し、例えば、支援を必要とする団体等が参考として閲覧できるようにしております。
- 本財団における助成事業の効果検証や質的向上、助成先とのコミュニケーションの強化なども目的として、助成金活用状況や要望事項等をアンケート方式で吸収する取組みを開始しております。また、個別団体先における助成金活用状況などは、団体先の紹介を含めて「財団レポート」として財団ホームページで情報公開し、誰でも閲覧できるようにしております。

2. 運営体制の充実を図るための取組

A. ガバナンスに関する取組等

- 本財団では、「理事・監事」「評議員」のそれぞれにおいて、外部の人員を選任しております。具体的には、社会福祉関連事業等の経験者、医師（医学博士）、大学教授、弁護士など、幅広い分野から招聘しております。
- 「外部理事・監事」に対して、本財団が実施している助成事業の内容を理解いただくために、個別助成先での助成金活用状況などを取材した「財団レポート」なども、作成および財団ホームページでの公開の都度、事務局より情報提供しております。当該情報提供は「評議員」に対しても、同様に実施しております。
- 本財団では、「評議員会」は毎年1回の「定時評議員会」に加えて、「臨時評議員会」を毎年2回開催しております（計3回）。これにより、本財団における業務運営の状況を迅速かつ的確に把握いただける体制としております。
- 本財団では、常務理事（業務執行理事）が常勤となっており、財団事務所に常駐していることから、財団業務全般のガバナンス強化に繋がっております。

Ⅲ. 役員に関する事項

1. 役員等の異動

A. 理事・監事

- ・羽田勝征氏が6月25日付で理事を辞任、補欠として杉下和郎氏が6月26日付で理事に選任されました。
- ・石山智久氏が6月26日付で理事を辞任、補欠として副島直樹氏が同日付で理事に選任されました。
- ・2025年6月26日付にて、代表理事に副島直樹氏が選定されました。

B. 評議員

- ・評議員4名の任期満了に伴い、次期（2025年6月26日から2028事業年度に関する定時評議員会終結の時まで）の評議員に、宮崎牧子氏、藤崎誠一氏、二見陽子氏、清友美貴氏が再任されました。

C. 選考委員

- ・河幹夫氏が逝去によって2025年1月10日付で退任したことに伴い、後任として和田敏明氏が選任されました（任期：2025年7月16日より2026年7月15日まで）。
- ・羽田勝征氏が6月25日付で辞任したことに伴い、後任として杉下和郎氏が選任されました（任期：2025年7月16日より2026年7月15日まで）。

2. 役員等の氏名

2025年度末（2026年3月31日）現在の役員等の氏名は次のとおりであります。

A. 理事

理事長	副島直樹
常務理事	本横山俊明
理事	河村博江
	長崎俊樹
	池ノ内浩
	杉下和郎

以上 6名

B. 監 事

谷 垣 岳 人
下 屋 敷 縁

以上 2名

C. 評議員

和 田 敏 明
島 村 糸 子
宮 崎 牧 子
藤 崎 誠 一
二 見 陽 子
清 友 美 貴

以上 6名

D. 選考委員

委員長	和 田 敏 明
委員	島 村 糸 子
	藤 崎 誠 一
	池 ノ 内 浩
	杉 下 和 郎
	二 見 陽 子
	本 横 山 俊 明

以上 7名

IV. 会議に関する事項

次のとおり開催いたしました。

1. 理事会

第 78 回	理事会	2025 年 5 月 29 日	
第 79 回	理事会	2025 年 6 月 26 日	
第 80 回	理事会	2025 年 8 月 7 日	書面開催
第 81 回	理事会	2025 年 8 月 28 日	
第 82 回	理事会	2026 年 2 月 19 日	

2. 評議員会

第 48 回	評議員会	2025 年 6 月 26 日
第 49 回	評議員会	2025 年 8 月 28 日
第 50 回	評議員会	2026 年 3 月 12 日

3. 選考委員会

第 18 回	選考委員会	2025 年 8 月 7 日
--------	-------	----------------

V. 事務局に関する事項

構成人員は次のとおりであります。

事務局長	小山 正三
事務職員	1 名（派遣スタッフ 1 名）

VI. 行政庁に関する事項

内閣府へ次のとおり報告・届出をいたしました。

1. 2025 年 6 月 27 日付「2024 年度事業報告等に係る提出」
2. 2025 年 8 月 5 日付「代表理事・理事の変更届出」
3. 2026 年 3 月 26 日付「2026 年度事業計画等に係る提出」

Ⅶ. 登記に関する事項

法務局へ次のとおり登記いたしました。

1. 2025年7月9日付「評議員・代表理事・理事の登記」

以 上